



## 大災害になるかも? 集中豪雨に備えよう!

近年、集中豪雨や台風などによる被害が相次いで発生しています。

広島県広島市(平成26年8月)や関東地方及び東北地方(平成27年9月)で、複数の積乱雲が線状に連なる線状降水帯が停滞して集中豪雨となり、土砂災害や河川氾濫による被害が発生しました。この数年は1時間降水量が50ミリ以上の非常に激しい雨が各地で頻発するなど、雨の降り方が**局地化、集中化、激甚化**しており、集中豪雨がいつ、どこで発生してもおかしくはありません。

☆「防災マップ」や「水害ハザードマップ」で自宅や職場・学校などがどの程度浸水するおそれがあるのかを確認し、避難場所や避難経路を検討しましょう。各種マップは区役所や出張所に置いておくだけでなく、区ホームページでも公開しています。

☆「いつもと違う、何か違う」と感じた時には、危機は迫ってきています。「まだ大丈夫」「自分だけは大丈夫」と思い込まず、早めに避難しましょう。

【問合せ】安全安心 **1階8番** 電話 4809-9820

## カセットコンロの取扱い・カセットボンベ等の廃棄には十分ご注意ください!爆発することもあります!

これからの季節はアウトドアでカセットコンロが大活躍します。取扱いを誤ると爆発する恐れがあります。安全のためにも次のことに注意しましょう!

- 使用方法**
- カセットコンロより大きな調理器具は使用しない。
  - 炭の着火に使うなど、調理以外の用途に使用しない。
  - 2台並べて使用しない。
  - 電磁調理器(IH)の上で使用・保管しない。
  - コンロに指定されているボンベを使用し、表示どおり正しくセットする。
  - テント内で使用しない。

また、カセットボンベやスプレー缶等の廃棄時は、次の要領で廃棄願います。

- 廃棄方法**
1. 必ず中身を使い切る。
  2. **穴をあけずに**、中身の見える透明または半透明の袋に入れる。
  3. 「資源ごみ」の収集日に、カセットボンベ・スプレー缶等だけを袋に入れて出す。(ただし、塗料スプレーについては、「普通ごみ」の日に出す。)

正しい使用、正しい廃棄で思わぬ事故を防ぎましょう。

【問合せ】使用方法について:東淀川消防署 電話 6320-2172

廃棄方法について:東北環境事業センター 電話 6323-3511

## 今年の夏も暑い~熱中症について学ぼう!~

### 熱中症予防講演会

無料 申込不要

【開催日時】7月2日(日) 13:00~16:00

【内容】熱中症の症状や怖さ、その対処法などについて、医師を招きわかりやすく解説します。また、大塚製薬による出張講座も実施します。

【開催場所】区民ホール(区役所3階) 【定員】400名(先着順)

【問合せ】健康(保健企画) **2階22番** 電話 4809-9882

### 【同日開催】水に落ちたら浮いて待て ~着衣水泳講習会~

無料 申込不要

【開催日時】7月2日(日) 11:00~12:00

【内容】本格的な夏の到来とともに、水の事故が多くなる時期です。水難事故防止のため講習会を受けましょう。傷病時の対処法などもお話します。

【開催場所】東淀川屋内プール(東淡路1-4-53) 【定員】50名(先着順)

【その他】参加者は水着をお持ちください。講習中は、水着の上に着衣可。小学4年生以下の方は、16歳以上の保護者の同伴が必要。(保護者1名につき子ども3名まで)

【問合せ】東淀川屋内プール 電話 6325-5077

## ご利用ください!

### ひとり暮らし高齢者などへの見守り活動!

東淀川区役所では、区内にお住まいの方が、いつまでも地域で安心して生活できる仕組みの構築をめざして、東淀川区ライフステーション事業に関する連携協定を、よどまち医療と介護のまちづくり株式会社(よどまち保健室)及び社会福祉法人大阪自彊館(メゾンリベルテ)と締結しました。



この協定に基づき、区内2か所のライフステーションで、見守りキーホルダー事業などの見守り活動を実施しています。ぜひ、ご利用ください。

【利用についての問合せ】

よどまち保健室 電話 6328-0160 メゾンリベルテ 電話 0120-580-008

## 区長コラム



### 地震に対する備え~非常持ち出し袋~

昨年4月に起きた熊本地震から1年が過ぎましたが、このような大きな地震はいつ起こるかわかりません。以前は「災害は忘れた頃にやってくる」と言われましたが、最近では「災害は忘れなくてもやってくる」と言っても、過言ではないでしょう。また、4月27日に公表された全国地震動予測地図によりますと、今後30年以内に震度6弱以上の激しい揺れに襲われる確率が、大阪市では昨年度と比べて1ポイント高くなり56%となりました。この数字を直視する必要があります。

さて、皆さんは日ごろどんな備えをしていますか?自宅にお水や食料を備蓄していますか?防災の第1歩は備えです。今回のコラムでは備えの基本となる非常持ち出し袋について考えてみましょう。非常持ち出し袋は、避難所で1~2日過ごすための物資を準備するものですので、重くて避難するのが手間取る、遅くなるようでしたら意味がありません。必要最小限度のものをさっと持ち出せる場所に置いておきましょう。非常持ち出し袋は、両手が自由に使えるリュックサックで、燃えにくい材質のものを備えましょう。これに、ヘルメットも必ず用意してください。

袋の中身は、5つの項目に整理してまとめてみましたので、参考にしてください。1つ目は、「**食料**」です。カンパンよりもバランス栄養食がおいしいですよ。お水は500mlを3本用意しましょう。ビタミン、ミネラルを補給できる栄養補給食品も

用意しましょう。2つ目は、「**身を守るもの**」です。雨や風から体温を奪われないように、上下式のレインスーツを用意しましょう。これはリュックサックを背負ったまま着用できるものがあります。それと、**体温を保持する**サバイバルブランケット(非常用ブランケット)も用意しましょう。次に、助けを呼ぶための笛、粉塵を吸い込まないための防塵マスク、ゴム製・革製の手袋(瓦礫でけがをしないように布製でないもの)、LEDヘッドライト(両手をあけるため)を用意しましょう。万能ナイフも用意しましょう。それと忘れてはならないのは、小銭です。3つ目は、「**衛生用品**」です。まず救急キット(ばんそうこう、包帯、はさみ、消毒液、ガーゼ、綿棒など)。体を拭けるウェットシート、手を拭けるウェットティッシュ、口を清潔にする歯磨きシート、生理用品を用意しましょう。そして、何かと役に立つラップも必需品です。さらに、非常用トイレセットも用意しましょう。4つ目は、「**安眠用品**」です。エアーマット、アイマスク、耳栓があればいいでしょう。5つ目は、「**情報収集品**」です。携帯ラジオは必須です。電池が要らないダイナモラジオで、LEDライトやサイレン付きであればなお安心です。ノートと油性ペンも必要ですし、文字がにじまない布製ガムテープも用意しましょう。これで大人1人、1~2日はしのげますが、家族構成などの事情に応じて、薬や粉ミルクも用意しましょう。お薬手帳は日頃から非常持ち出し袋のそばに置いておけば、一緒に持ち出せます。

いかがですか?まずは自分の身を守ることが大切です。しっかりと用意しましょう。

きた おか ひとし  
**北岡 均**

広告掲載枠

広告掲載枠

